

一般質問

市政全般にわたり18人の議員が質問 (要旨を掲載)



病院誘致の実現に努力せよ

木村 正博 議員《公明党》

キャンパス座間チャペル・ヒル住宅地区返還跡地の有効活用について、基地返還促進委員会からの答申では、整備が望まれる施設として病院及び公園を位置づけられていますが、病院については総合病院を誘致し、市の救急医療体制の充実を図ることとしています。

病院の誘致は市民の強い願いであり、ぜひその実現に努力してほしいと思いますが、市長は今後どのように実現を図っていくのか、その決意を

お聞かせください。

市長 病院誘致は、特に市民要望が強く、切実な課題であると認識しています。さまざまな課題がありますが、「新成長戦略における国有地の有効活用について」という新たな枠組みが平成22年6月に閣議決定されたので、これを適用していただけないか強く求めていきたいと考えており、実現に向けさまざまな課題解決に全力で取り組んでまいります。



「孤立」から「支え合い」の仕組みづくりを！

小野 たづ子 議員《公明党》

人や地域とのつながりを持って、社会から孤立する「無縁社会」が進行し、ひとり暮らしの高齢者が地域から孤立しやすい環境に置かれてい

ます。高齢者の所在不明問題は、地域のつながり、人間関係の希薄さを浮かび上がらせました。高齢者や中高年の単身世帯は今後もふえ続けます。高齢者の孤立化を防ぐ対策として、見守り巡回や生活支援、さらに、地域の人たちが自由に交流できるサロン活動

など、さまざまな地域の見守り体制の構築が必要です。地域の実情に応じたコミュニティ再生のための取り組みについて伺います。

保健福祉部長 ひとり暮らし高齢者への生活支援等、支え合いの仕組みづくりは必要と考えます。今後、(仮称)高齢者地域見守りネットワーク検討委員会を組織し、検討してまいります。市民部長 先進事例をよく研究させていただきたい。



相模野基線の南端点 市の重要文化財指定に

中澤 邦雄 議員《日本共産党》

ひばりが丘一丁目にある国土地理院管理の一等三角点は、日本の近代測量の原点となった相模野基線の南端点で、このほど社団法人土木学会から土木遺産に認定されました。明治15年、日本は国防のために正確な日本地図を製作す

るとして、ドイツから導入した三角測量という技術で測量を始めた。本市ひばりが丘に南端点、相模原市麻溝台に北端点となる一等三角点が置かれ、この両点を結ぶ一辺を基線として、全国の三角網が整備され、大正14年に日本地



ひきこもり対策・就労支援を

守谷 浩一 議員《日本共産党》

先日、11月30日付の朝日新聞に「ひきこもりから職場へ」という記事がありました。内閣府の「若者の意識に関する調査」でひきこもりのきっかけとして、職場になじめなかつたことが約23%、就職活動がうまくいかなかったことが

約20%でした。就職氷河期において、ひきこもりが増大すると考えられます。相模原市を始め、農業体験やカウンセリング等も含めた若者の就労支援を実施する自治体もあります。そういう中で雇用対策にもつながっていきます。市



キャンパス座間返還促進委員会 答申に至る経緯は？

安海 のぞみ 議員《神奈川ネット》

キャンパス座間跡地利用についての諮問機関「基地返還促進委員会」には、公募市民枠に10名もの応募があったにもかかわらず採用は2名でした

が、選考方法とその基準をお示しください。また、ようやく公開となった会議録からは、やはり自衛隊家族宿舎の受け入れを前提に議論が進行したように感じられますが、事務局の見解を伺います。

秘書室長 本市審議会等に関する要領施行基準及び本委員会委員公募に伴う選考基準に基づき、応募の動機、市政

に基き、応募の動機、市政



総合計画の体系は 組織の都合なのか

竹市 信司 議員《市民連合》

行政組織条例改正によって介護保険を福祉部ではなく健康部に位置づけることについて、第四次総合計画の政策・施策体系にのっとったものだと説明されていますが、総合計画について9月定例会では、保健福祉部が大きな規模にな

っているので福祉事務所とその他の部分を分けるといふ説明でした。総合計画の体系自体が組織に基づいて構想されたということですから、役所の組織の都合に市民が生活を合わせるようなものと言わざるを得ません。政策的な必要



測量文化遺産「相模野基線」 をどう保存しようか？

安齊 昭雄 議員《無党派》

図が完成した。この歴史的遺産である南端と相模が丘にある中間点の石標も含め市の重要文化財に指定し、保存すべきです。また、所有者と国土地理院とも協議し、案内板の設置など市民の宝として市民に広く周知すべきです。

市長 先人たちの残した遺産であり大切にすべきです。教育長 市の有形文化財、史跡として保存していきます。

相模野基線は、大本宮陸地測量部で計画したのですが、私は20年前にこれを本市の文化遺産にするよう訴えました。素人である私の言うことなど誰も相手にしてくれませんでした。当時、三角測量は、北海道と那須にもありましたが、それを統一すべく測量に最適である相模野台地に位置されたそうです。現在のひばりが丘一丁目の鳥羽医院の敷地内に三角点の南点があり、北点が相模原市麻溝台、その

のさまざまな団体を紹介しているホームページ「ひまわり」をみたところ、不登校・ひきこもり居場所「あすなろ」という団体がありました。こういう団体の活動にも学んで、ひきこもり対策を通じて就労支援をすることについて、当局の見解を伺います。

環境経済部長 他市の事業の把握に努めます。

私が小学校に上がるころにやぐらがあり、そこに赤い旗が立っていたのを覚えていますが、それが測量の基線だということでした。この中間点は、大正12年の震災のときにも狂いはなかったとのこと、国土地理院は地震予知に利用しているとのこと。市長 今後も、経験されたことなどをぜひお伝えいただきたいと思っています。



消防広域化断念の今、 消防力強化を早急に図るべき！

池田 徳晴 議員《市政クラブ》

への関心、募集内容の理解と市政参加への自覚・責任・協調性という観点から提出書類の採点を行い決定しました。諮問に関しては初回の会議方針検討の意見交換の結果、委員会としては家族宿舎建設を前提に考え、5・4ヘクタール全部を市が活用できるとなった時点で全面利用の検討もあり得るとい形でした。

消防広域化によるスケールメリットとして、消防力の強化による住民サービスの向上、財政運営の効率化などが期待されましたが、実現不可となりました。広域化を前提に防災等を議論してきた経過があります。防災の拠点であるにも関わらず、築40年が経過し、老朽化した消防庁舎の早急な更新が必要と考えますが、見直しをお示しください。

消防庁舎の建て替えは、平成23年度からの次期総合計画の中で対応を図ります。建設への見直しは、23年度に地質調査を実施後、基本設計、実施設計、施工の計画を考えます。建設場所は現在の消防庁舎の位置で、その建設用地の測量調査は昨年終了しています。

今後、施設、機材、人員など計画的な整備を行い、消防体制の基盤強化を図ります。

消防長 昨年10月に消防の広域化を行わない旨の結果報告

市民委員児童委員の負担軽減を



市民委員児童委員の負担軽減を

沖本 浩一 議員《市政クラブ》

性なのか組織からの発想なのか説明を求めます。市長 鶏が先か卵が先かという議論ですが、二つに割るときにどこかに矛盾が出るわけで、介護保険と高齢者福祉は離せないという指摘についても、政策が組織ではなく、組織を作る立場と現場とで議論を重ねた結果、総合的な判断から行いました。

本市の民生委員児童委員は、現在欠員が38人となっており、地域でお年寄りを見守ることの必要性が強調される中、従来の民生委員児童委員制度の仕組みに頼って地域ネットワークを維持することは限界にきているのではないかと考

えます。民生委員児童委員自身の高齢化や職務の広範囲化、多様化、個人情報保護の壁、そしてなり手がいないという現実、行政は今後どのような対応を考えているのか伺います。

(5面へ続く)